

科目名	BALLET 4							年度	2026	
英語科目名	Ballet 4							学期	後期	
学科・学年	ダンスパフォーマンス科	2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	Hink/Sena		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー		
<b>【科目の目的】</b> この科目では全てのダンスの基礎となるバレエにおける基礎的な技法の修得、体作り、体の使い方、音楽への理解、文化芸術を学びます。バレエにおけるストレッチ、基礎となるポジションや動きを身に付け、特に正しい姿勢と体の使い方の習得に重点を置きます。その上でテクニック、コントロールを学びバレエを表現できる事を目的とします。										
<b>【科目の概要】</b> この科目ではダンスにおける基礎となるバレエを学ぶことで正しい体の使い方、筋肉の使い方を理解します。また基礎技法を修得するとともに、振付による発表会を行いバレエの文化や芸術に対する造詣を深めます。										
<b>【到達目標】</b> A. 各部位のアイソレーション技術を理解、習得する。 B. ストレッチの動きを理解しダンスの表現に活かせる。 C. Balletの基礎的なステップを理解、習得している。 D. 振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。 E. 音楽に合わせて基礎・応用の振付を踊る事が出来る。										
<b>【授業の注意点】</b> 身体のラインが見えるレッスン着を着用し髪の毛が長い学生は結ぶ事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術を理解、習得している。	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術をやや理解、習得している。	各部位のアイソレーション技術を理解、習得しているが受講態度が良くない。	各部位のアイソレーション技術の理解、習得度が低い。	受講態度も悪く各部位のアイソレーション技術の理解、習得ができていない。					
到達目標 B	受講態度も良くストレッチの動きを理解しダンスの表現に活かせる。	受講態度も良くストレッチの動きを理解、習得している。	ストレッチの動きを理解、習得しているが受講態度が良くない。	ストレッチの動きの理解、習得度が低い	受講態度も悪くストレッチの動きの理解、習得が出来ていない。					
到達目標 C	受講態度も良くバレエの基礎的な動作を理解、習得している。	受講態度も良くバレエの基礎的な動作をやや理解、習得している。	バレエの基礎的な動作をやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	バレエの基礎的な動作の理解、習得度が低い。	受講態度も悪くバレエの基礎的なステップの理解、習得ができていない。					
到達目標 D	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けているが受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。					
到達目標 E	受講態度も良く音楽に合わせて基礎・応用の振付を踊る事が出来る	受講態度も良く音楽に合わせて基礎・応用の振付を踊れるが、改善点もある	音楽に合わせて基礎の振付を踊れる	音楽に合わせて基礎の振付を踊れるが、改善点もある	音楽に合わせて踊る事が出来ない					
<b>【教科書】</b> 適時レジュメ・資料を配布する										
<b>【参考資料】</b>										
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 成果発表 50% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		BALLET 4			年度	2026
英語表記		Ballet 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	講師A 応用1	ポアントワーク (アダジオ)	1 基本姿勢	ポアントワークの為の基本姿勢を理解	2	
			2 動作確認	基本を理解し動作を確認する		
			3 フィードバック	フィードバックを受け、動作修正		
2	講師A 応用2	ポアントワーク (アダジオ) 表現の研究と演習	1 復習	前週のポアントワークを確認・練習	2	
			2 テクニック	表現方法を習得		
			3 反復練習	音楽に合わせた反復練習		
3	講師A 応用3	ポアントワーク (ターン)	1 基本姿勢	ポアントワークの為の基本姿勢を理解	2	
			2 動作確認	基本を理解し動作を確認する		
			3 フィードバック	フィードバックを受け、動作修正		
4	講師B 応用1	ポアントワーク (ターン) 表現の研究と演習	1 復習	前週のポアントワークを確認・練習	2	
			2 テクニック	表現方法を習得		
			3 反復練習	音楽に合わせた反復練習		
5	講師B 応用2	ポアントワーク (アレグレ)	1 基本姿勢	ポアントワークの為の基本姿勢を理解	2	
			2 動作確認	基本を理解し動作を確認する		
			3 フィードバック	フィードバックを受け、動作修正		
6	講師B 応用3	ポアントワーク (アレグレ) 表現の研究と演習	1 復習	前週のポアントワークを確認・練習	2	
			2 テクニック	表現方法を習得		
			3 反復練習	音楽に合わせた反復練習		
7	講師C 応用1	ポアントワーク (アンシュスマン)	1 基本姿勢	ポアントワークの為の基本姿勢を理解	2	
			2 動作確認	基本を理解し動作を確認する		
			3 フィードバック	フィードバックを受け、動作修正		
8	講師C 応用2	ポアントワーク (アンシュスマン) 表現の研究と演習	1 復習	前週のポアントワークを確認・練習	2	
			2 テクニック	表現方法を習得		
			3 反復練習	音楽に合わせた反復練習		
9	講師C 応用3	音楽的表現に ついての演習	1 音楽表現1	音楽に合わせた表現1	2	
			2 音楽表現2	音楽に合わせた表現2		
			3 反復練習	表現1、2を反復練習		
10	卒業公演 振付1	テーマ理解	1 作品テーマ	振付師が表現する作品テーマへの理解を深める	2	
			2 楽曲	使用する楽曲への理解を深める		
			3 表現内容	振付イメージ等表現内容を理解する		
11	卒業公演 振付2	ユニゾン	1 振り落とし	ユニゾンパートの振付を習得する	2	
			2 反復練習	反復練習を行い全員が振付を習得する		
			3 確認	振付師イメージを落としこみをおこなう		
12	卒業公演 振付3	立ち位置・構成	1 レベルチェック1	ユニゾン振付を全体で発表	2	
			2 レベルチェック2	ユニゾン振付を少人数で発表		
			3 立ち位置・構成	レベルチェックを基に立ち位置・構成を決定		
13	卒業公演 振付4	少人数・ソロ パート	1 振り落とし	少人数・ソロパートの振付を習得する	2	
			2 オーディション	振付師の指示に従いオーディションを行う		
			3 出演者確定	少人数やソロパート出演者を確定する		
14	卒業公演 振付5	全体構成	1 全体構成	全体の流れ・立ち位置を確認、習得する	2	
			2 反復練習1	反復練習を行い全員が振付を習得する		
			3 反復練習2	反復練習を行い全員が振付・構成を習得する		
15	レベルチェック	レベルチェック	1 ユニゾン	ニュアンス・振付の正確性を確認	2	
			2 パート	ニュアンス・振付の正確性を確認		
			3 構成	ニュアンス・振付の正確性を確認		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等